

- 問1 石川県輪島市を中心に生産される「輪島塗」は、他の地域の漆器と比較しても非常に堅牢（丈夫）であることで知られています。その品質を維持し、製品の耐久性を高めるために行われている、この地域独自の技法に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 新潟県公立入試 類似）
1. 木材を乾燥させずに加工し、漆を塗り込めることでひび割れを防いでいる。
 2. 接着剤を使わずに複雑な木組みを行うことで、衝撃を吸収する構造にしている。
 3. 鉄を高温で熱して叩き、不純物を取り除くことで強度を高めている。
 4. 下地の工程で、地元で採れる地粉（珪藻土）を漆に混ぜて塗り、器を補強している。
- 問2 ある県の産業別就業者割合を確認すると、第2次産業の割合が約33%と全国的に見ても高い水準を示している。この県は東海工業地域に位置し、輸送用機械や楽器などの製造業が盛んである。この県として最も適当なものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. 沖縄県
 2. 静岡県
 3. 青森県
 4. 北海道
- 問3 日本の高速鉄道網である新幹線は、全国各地を結び地域の発展に寄与していますが、すべての県に路線が通っているわけではありません。東北地方の青森県、北陸地方の石川県、九州地方の鹿児島県にはすでに新幹線の駅が設置されていますが、これら3つの県とは異なり、現在、新幹線の路線が通っておらず、駅も設置されていない県はどこですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）
1. 石川県
 2. 鹿児島県
 3. 青森県
 4. 山梨県
- 問4 製造品出荷額に占める工業分野別割合において、輸送用機械器具の割合が約半数を占め、全体の製造品出荷額等でも全国トップである愛知県の工業に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 宮崎県公立入試 類似）
1. 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。
 2. 電子部品や半導体の生産が盛んで、内陸部の高速道路沿いに工場が集積している。
 3. 石油化学コンビナートが形成され、化学工業の割合が最も高くなっている。
 4. 製鉄所を中心とした鉄鋼業が発展し、臨海部に巨大な重工業地帯が広がっている。
- 問5 日本各地には、その土地の自然環境や歴史的背景を活かした「地場産業」が根付いています。中部地方の日本海側に位置する都市のうち、冬の厳しい降雪期における屋内作業から発展し、現在は世界的な眼鏡フレームの産地として知られる都市はどこですか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
1. 岡山市
 2. 鯖江市
 3. 高山市
 4. 宮津市
- 問6 名古屋市の製造品出荷額の構成を示した統計において、約36%を占める電気機械に次いで、出荷額全体の14%を占めている工業分野があります。人口が集中する大都市としての消費需要を背景に、名古屋市内で発達しているこの工業分野は何ですか。（2018年 福島県公立入試 類似）
1. 非鉄金属工業
 2. 食料品工業
 3. 窯業・土石製品工業
 4. パルプ・紙工業
- 問7 新潟県、山梨県、長野県の農業産出額の統計において、各県で最も産出額が多い作物の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 新潟県：野菜、山梨県：米、長野県：果実
 2. 新潟県：米、山梨県：野菜、長野県：果実
 3. 新潟県：米、山梨県：果実、長野県：野菜
 4. 新潟県：果実、山梨県：野菜、長野県：米
- 問8 北陸地方の気候の特徴を説明した文として、年間の降水量の変化や季節風の影響を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
1. 冬は北西からの季節風の影響で雪や雨が多く、12月や1月の降水量が300mmを超えるなど、冬の降水量が夏より多い。
 2. 標高が高いため一年を通じて気温が低く、夏と冬の気温差は大きい、年間降水量は1000mm程度と少ない。
 3. 一年を通じて降水量が少なく、冬は乾燥して晴天の日が多いが、夏は季節風の影響で蒸し暑くなる。
 4. 夏は南東からの季節風によって雨が多くなるが、冬は山を越えた乾燥した風が吹くため、雨や雪が非常に少ない。
- 問9 日本の茶の主産地では、4月上旬頃の気象条件に合わせて「防霜ファン」を稼働させることがあります。この設備が稼働する背景となる自然現象と、その仕組みについて説明した文として正しいものを選びなさい。（2022年 群馬県公立入試 類似）
1. 春先に発生しやすい濃霧が日照を妨げるため、扇風機の風で霧を散らして茶の芽の成長を促進させる。
 2. 梅雨時期の高温多湿な環境で発生する病原菌を抑えるため、風を送り続けて茶の葉の表面を乾燥させる。
 3. 夏場の強い日差しによる土壌の乾燥を防ぐため、風を送ることで地中の水分を効率よく吸い上げさせる。
 4. 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。
- 問10 石川県金沢市の産業や文化の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
1. 古くから大規模な港湾整備が進み、重化学工業の原料を輸入して加工する臨海工業地帯として発展を遂げている
 2. 加賀友禅や金沢箔などの伝統的工芸品が、城下町としての歴史的背景の中で発展し、今もなお受け継がれている
 3. 寺院の門前に発達した門前町としての特色を活かし、全国の寺院で使用する仏具の機械による大量生産に特化している
 4. 積雪を避けるために地下街が発達し、現代的な商業施設を中心としたサービス業が産業のほぼ全てを占めている
- 問11 中部地方の太平洋側に広がる中京工業地帯および東海工業地域について述べた文として、正しいものはどれか。（2015年 大分県公立入試 類似）
1. 千葉県から茨城県にかけての臨海部において、大規模な掘り込み港を中心に重化学工業が発達した。
 2. 岡山県倉敷市の水島地区などに大規模な石油化学コンビナートが形成され、原料の輸入に依存している。
 3. 静岡県の浜松市などで、オートバイや楽器の製造、精密機械工業が盛んに行われている。
 4. 北九州市を中心に官営の製鉄所が建設されたことで発展し、現在も鉄鋼業が中心である。
- 問12 中京工業地帯では自動車工業などの輸送用機械の製造が盛んですが、その生産体制を支える仕組みについて述べた文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2016年 滋賀県公立入試 類似）
1. 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で高価なIC（集積回路）を製造する工場が分散して立地している。
 2. 古くから伝わる伝統的な技術を継承するため、小規模な職人の工房が都市部に密集して生産を行っている。
 3. 原材料の輸入に有利な港湾部に、石油化学コンビナートと製鉄所を集中させ、素材生産を主軸としている。
 4. 大規模な組み立て工場の周辺に、部品を製造する関連工場が集中して立地し、効率的な生産を行っている。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 下地の工程で、地元で採れる地粉（珪藻土）を漆に混ぜて塗り、器を補強している。	輪島塗が「堅牢」と言われる最大の理由は、下地作りにあります。輪島特産の地粉（じのこ）と呼ばれる珪藻土を焼いた粉を漆に混ぜて何度も塗り重ねることで、漆器の弱点である縁（ふち）などの摩耗しやすい部分を徹底的に補強しています。これにより、修理をしながら一生使い続けることができるほどの丈夫さが生まれます。他の選択肢は金属加工や木工技術の説明であり、漆器の技法ではありません。
問2	答え 2 静岡県	東海工業地域に含まれ、浜松市の輸送用機械（オートバイ・自動車）や楽器、富士市の製紙・パルプ産業などが発達しているため、第2次産業就業者割合が高いのが特徴である。北海道や青森県は農業や漁業などの第1次産業の割合が比較的高い傾向にあり、沖縄県は第3次産業の割合が極めて高い。
問3	答え 4 山梨県	青森県（東北新幹線・北海道新幹線）、石川県（北陸新幹線）、鹿児島県（九州新幹線）には、それぞれ新幹線の路線と駅が存在します。一方、山梨県は隣接する静岡県を東海道新幹線が通っていますが、山梨県内には新幹線の路線自体が通っておらず、駅も設置されていません。ただし、将来的に「リニア中央新幹線」の駅が設置される予定があることが、地理上の大きな特徴です。
問4	答え 1 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。	製造品出荷額が全国1位の愛知県では、豊田市などを中心に自動車工業が著しく発達しています。石油化学コンビナートが盛んなのは三重県や山口県などであり、電子部品・半導体は九州地方や東北地方などの特徴となります。
問5	答え 2 鯖江市	鯖江市は福井県に位置し、冬季の積雪が厳しい環境下で、農家の冬の副業として眼鏡作りを導入したことが現在の地場産業の基盤となりました。選択肢にある岐阜県の高山市は木材加工を活かした家具（飛騨の家具）、京都府の宮津市は日本三景の天橋立や織物、岡山県の岡山市は学生服やジーンズなどの繊維産業が有名ですが、眼鏡フレームといえば鯖江市が代表的な産地です。
問6	答え 2 食料品工業	名古屋市のような大都市の工業構成では、多くの人口を抱える「大消費地」に近い利点を活かした、消費地立地型の工業が発達する傾向があります。出荷額の14%を占める食料品工業は、パンや菓子、飲料など、都市住民の生活に密着した製品を迅速に供給するために、都市近郊や都市内部に工場が置かれる典型的な事例です。なお、非鉄金属は約8%であり、食料品工業に次ぐ主要な構成要素となっています。
問7	答え 3 新潟県：米、山梨県：果実、長野県：野菜	新潟県は越後平野を中心に日本有数の米の産地として知られ、農業産出額でも米が圧倒的な割合を占めます。山梨県は甲府盆地の扇状地などの水はけのよい地形を利用したブドウやモモなどの果実栽培が盛んです。長野県は、冷涼な高原の気候を活かしたレタスやキャベツなどの野菜（高冷地農業）の産出額が大きくなっています。
問8	答え 1 冬は北西からの季節風の影響で雪や雨が多く、12月や1月の降水量が300mmを超えるなど、冬の降水量が夏より多い。	北陸地方に代表される日本海側の気候は、冬の降水量が際立って多いことが最大の特徴です。統計データにおいても、12月や1月の降水量が月間300mmを超える地点があり、梅雨や台風の影響を受ける夏場の降水量よりも、冬の降雪・降雨による水分量の方が多くなる傾向があります。一方、太平洋側の気候では冬に乾燥し、中央高地では年間を通じて降水量が少なくなります。
問9	答え 4 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。	茶の産地において、春先の気温低下は「晩霜（ばんそう）被害」として恐れられています。特に雲のない晴れた夜間は放射冷却が強まり、地表付近の温度が氷点下近くまで下がる場合があります。このとき、地上6～8メートル付近には地表よりも数度高い温度の空気層（逆転層）ができるため、防霜ファンでその暖かい空気を地表に送り込むことで、デリケートな新芽が凍りつくのを防いでいます。
問10	答え 2 加賀友禅や金沢箔などの伝統的工芸品が、城下町としての歴史的背景の中で発展し、今もなお受け継がれている	金沢市は加賀藩の城下町として発展した都市であり、当時の藩主が文化振興に力を入れたことから、加賀友禅（染物）や金沢箔（金箔）などの優れた工芸技術が育まれました。これらは現代において「伝統的工芸品」として指定されており、歴史的な街並みとともに観光資源や地域の重要な産業となっています。他の選択肢にある「門前町」や「近郊農業」などは北陸地方のこの文脈においては誤りです。
問11	答え 3 静岡県の浜松市などで、オートバイや楽器の製造、精密機械工業が盛んに行われている。	東海工業地域は静岡県を中心とした地域を指し、浜松市の楽器やオートバイ、磐田市の輸送機械、富士市の製紙業など、多様な加工組立産業や伝統的な地場産業が発展しているのが特徴です。他の選択肢は、瀬戸内工業地域、北九州工業地帯、鹿島臨海工業地域の記述です。
問12	答え 4 大規模な組み立て工場の周辺に、部品を製造する関連工場が集中して立地し、効率的な生産を行っている。	自動車は数万点に及ぶ膨大な数の部品から構成されるため、最終的な組み立てを行う工場の近くに、それらの部品を供給する関連工場が多数集まることで、輸送コストの削減や在庫管理の効率化を図っています。このような関連工場との密接な連携が、中京工業地帯における強固な機械工業の基盤となっています。